

水道局の平成30年度当初予算と主要事業

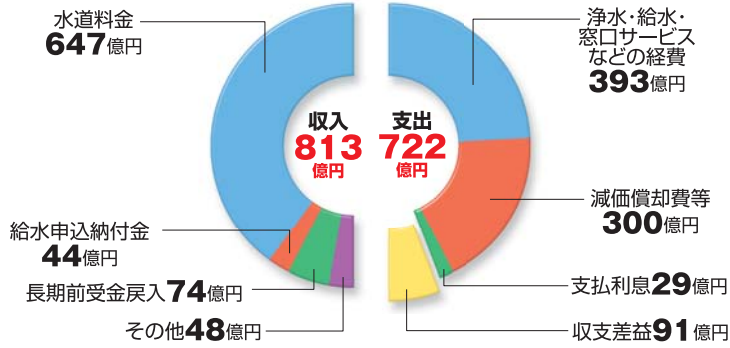
上水道事業

来たるべき人口減少社会、給水収益の伸び悩み、水道施設の更新需要の増大等、近年、大きく変化する経営環境の中、県営水道事業は「千葉県営水道事業中期経営計画」に基づき、基本理念「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」の実現に向けて、浄・給水場や管路等の更新・耐震化、高度浄水処理の拡充、お客様サービスの推進等に計画的に取り組んでいます。

平成30年度についても本計画に沿って事業を推進し、給水区域内300万人のお客様に、安全でおいしい水を、24時間365日途切れることなく供給していきます。

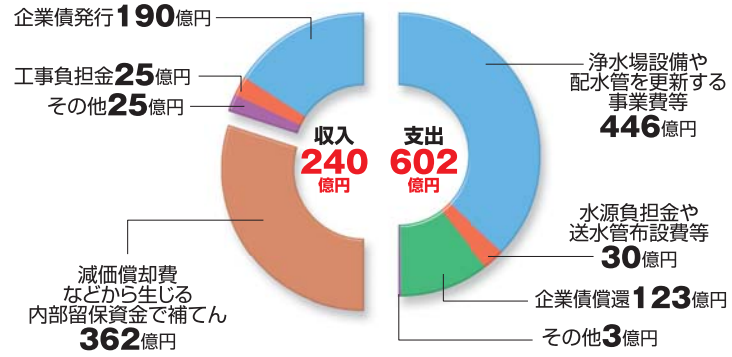
収益的収支

事業の管理・運営にかかわる収支です。



資本的収支

施設の整備・改良にかかわる収支です。



平成30年度の
主な事業

○ 铸铁管更新工事(小中口径管)

予算額 191億79百万円 (H29 184億6百万円)
東日本大震災による管路破損等の教訓を踏まえ、湾岸埋立地域の管路の更新を優先的に進めていきます。

布設延長	75.5km (H29 73.7km)
[うち湾岸埋立地域]	25.9km (H29 25.0km)

○ ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業

予算額 93億68百万円 (H29 44億34百万円)
老朽化が進んだ栗山浄水場から、近接するちば野菊の里浄水場に機能を移転し、併せて高度浄水処理機能を導入するため、施設の本体整備工事を実施します。

総事業費 約446億円(事業期間 平成24年度～34年度)
事業計画 平成28年度～34年度 本体整備工事 平成35年度 稼働予定



工業用水道事業

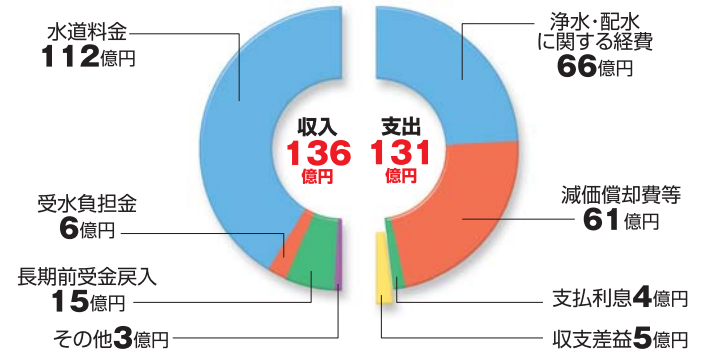
創設から半世紀が経過した本県の工業用水道事業においては、施設の老朽化への対策や大規模地震の発生に備えた耐震対策が急務となっています。そこで、平成30年3月に「千葉県工業用水道事業中期経営計画(平成30年度～34年度)を策定し、計画的に施設の更新・耐震化を進めることで、引き続き工業用水の安定供給に取り組み、本県の産業競争力の維持・強化に貢献していきます。

千葉県工業用水道事業中期経営計画(平成30年3月策定)

基本目標	主要施策	主な取組
1. 安定給水への対応	(1) 安定給水対策	① 施設更新・耐震化長期計画に基づく老朽化・耐震対策の実施 ② 安定的な水源の確保 ③ 安定した水質の確保
	(2) 危機管理対策	④ 事故(震災)等に対する危機管理対策 ⑤ 濁水対策
2. 健全経営の維持	(3) 収支均衡への取組	⑥ 資金確保策(料金改定、国・他会計からの助成・出資、内部留保資金・企業債の活用)
		⑦ 料金制度の検討と適正な料金水準の確保
	(4) 合理的管理体制の構築	⑧ 新規売水対策 ⑨ 資産の有効活用
		⑩ 合理的な管理体制の構築 ⑪ 事業規模の見直し・適正化 ⑫ 合理的な水運用に関する諸問題の検討
3. 環境対策への取組	(5) 環境負荷の低減	⑬ 省エネルギーへの取組
4. 受水企業への情報公開	(6) 各種情報の共有化	⑭ 受水企業への説明と相互理解

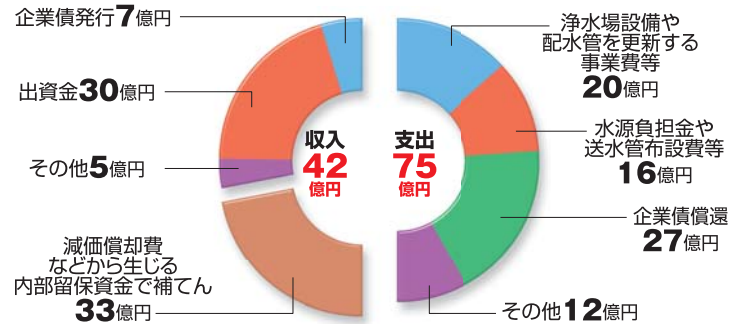
収益的収支

事業の管理・運営にかかわる収支です。



資本的収支

施設の整備・改良にかかわる収支です。



平成30年度の
主な事業

○ 施設更新・耐震化事業

予算額 14億91百万円 (H29 1億31百万円)
「施設更新・耐震化長期計画」に基づき、老朽化したコンクリート管等の管路、浄水場等の設備の更新を行います。

送水管布設替工事(旭ヶ丘Ⅱ期) ……	4億30百万円	袖ヶ浦浄水場機械設備更新工事 ……	1億90百万円
袖ヶ浦浄水場電気設備更新工事 ……	1億10百万円	人見浄水場排水処理施設更新工事 ……	1億円

